



吉原 美智恵 議員

官民協働のまちづくりは？

町長

取り組みを進めていく



逢坂地区のまちづくり地区会議

【吉原】住民のための行政を実現するためには、相互信頼と住民参加が必要である。
各課の事務事業の点検と運営方針の公表は、
【町長】公表する方向で検討する。
【吉原】「議員と語る会」では、町長と語る会の要望が町民から寄せられている。直接対話の機会を増やすことが相互信頼ではないか。町長と語る会を開催してはどうか。

【町長】これまでどおり出前座談会などで対応する。
【吉原】まちづくり地区会議のこれからは。
【町長】状況はさまざまだが、まちづくり委員と取り組みを進めていく。
【吉原】地区会議の遅れているところでは、職員のボランティア参加も必要ではないか。
【町長】区長・自治会長との連携で充実した内容になると考える。

思い切った子育て支援は？

町長

全体的な取り組みを進める

【吉原】本町での平成24年度出生数は89人となっていました。本町議会が視察した北海道三笠市では、人口の大幅減に危機感をいだき、ほかの市町村との差別化をはかる事業として「小学校給食費の無料化」を平成18年度から実施している。

限られた財源のなかで、地域全体で子どもを育てるという観点に立っている。
本町でも取り組んではどうか。

【町長】給食費は、原材料費以外は町の負担であり、保護者責任としても無料化の考えはない。

【吉原】三笠市では、平成23年度からは保育費の無料化を実現させ、生み育てやすい環境づくりに取り組んでいる。
本町でも、子育てにかかるお金の苦労を聞

く。実質無料化として、商工会の商品券に代替えしてはどうか。
【町長】国の新しい制度をみながら、移住定住・少子化対策など総合的な施策でチャレンジしていく。



子どもは宝もの